

公立豊岡病院組合立
朝来医療センター
公的医療機関等2025プラン

平成29年10月 策定

【2. 今後の方針】 ※1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

南但馬の中核病院として、また、朝来市唯一の公立病院として、その役割を果たすべく診療機能の充実を図る。また、地元開業医等との連携により地域完結型医療を構築するとともに、2次救急医療圏域の中心的医療機関である八鹿病院と連携・役割分担しながら、救急患者の受け入れを行う。

加えて、地域医療構想の示す医療需要の変化を踏まえ地域包括ケア病床を導入し回復期機能を強化するとともに、医師体制の充実を図るため引き続き県養成医や地元出身医師の招聘に取り組む。

② 今後持つべき病床機能

急性期病棟は一定程度維持する必要があるが、病院規模に見合った医師数が確保できなければ病床数の適正化について検討する必要性が生じる。

③ その他見直すべき点

平成29年10月より療養病床46床のうち22床を地域包括ケア病床へ転換したところであるが、今後、更なる地域包括ケア病床の増床を目指す。

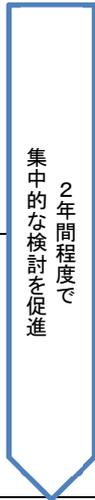
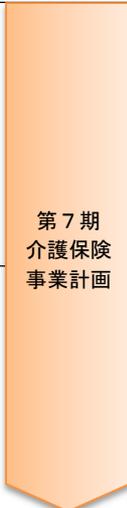
【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	104床		104床
回復期	46床		46床
慢性期			
(合計)	150床		150床

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	平成29年10月より療養病棟 46床のうち22床を地域包括 ケア病床へ転換		
2018年度	地域包括ケア病床の増床等 について検討 (時期・増床数等)		
2019～2020 年度			
2021～2023 年度		地域包括ケア病床46床の稼働	



② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率： ・ 手術室稼働率： ・ 紹介率： ・ 逆紹介率 <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率： ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： <p>その他：</p>
--

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--